

## 消耗部品のお買い求めについて

中せんとパッキンは消耗部品です。  
6カ月～1年を目安にご確認ください。  
汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めの上、交換してください。

# ステンレスポット

## 取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。  
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

# 安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

乳幼児の手の届くところには置かない。また、いたずらに注意する。

やけど・けがなどの  
おそれ。



傾けたり、横転させない。

内容物がこぼれたり、やけどのおそれ。

倒したり、落としたり、ぶついたり、強い振動(特に上下の振動)、衝撃を加えない。

やけど・破損・内容物が  
こぼれるおそれ。



コンロやストーブなど、火気の近くや、直射日光の当たる場所では使わない。

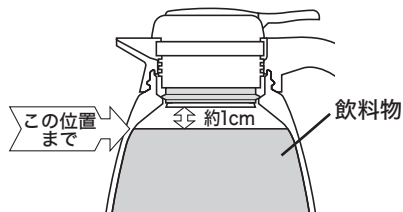
やけど・変形・変色の原因。

自動車の中では使わない。

やけど・汚れの原因。

飲料物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、プッシュレバーがかたくなったり、中せんをしめるときにあふれて、やけどや内容物がこぼれるおそれ。



飲料物の保温・保冷以外に使わない。

飲料物を注ぐときは、必ず中せんが確実にセットされていることを確認する。

中せんが落下して、内容物がこぼれたり、やけどのおそれ。

注ぎ口に顔を近づけた状態や、本体を傾けた状態で、プッシュレバーを押さない。

飲料物や水蒸気が勢いよく出て、やけどのおそれ。

肩口部分に熱いやカンをあてない。

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。



ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。

内圧があがり、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せんが破損して飛び散り、やけどなどのおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。

腐敗・変質の原因。

また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がリ、中せんが開かなかったり、内容物が吹き出たり、中せんが破損して飛び散り、けがなどのおそれ。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

腐敗・変質・サビのおそれ。

お茶の葉・麦茶・紅茶・果肉などは入れない。

目づまりし、もれてやけどのおそれ。

ななめに傾けたり、プッシュレバーを押したまま、持ち運びしない。

内容物がもれて、やけどのおそれ。



まっすぐ持ち運ぶ

プッシュレバー



ななめに傾けた状態

プッシュレバーを押した状態

分解・修理はしない。

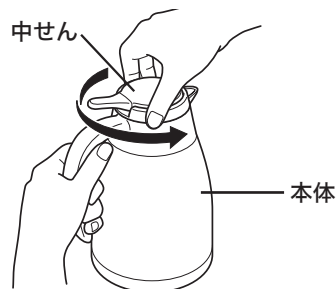
故障や事故の原因。

# 使いかた

## 1 中せんをはずす。

■ はじめて使うとき

内びん・肩口・中せんを洗う。  
→P.6

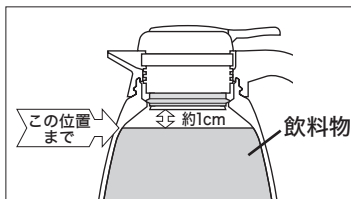


## 2 保温(保冷)効果を高めたいときは、 少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。

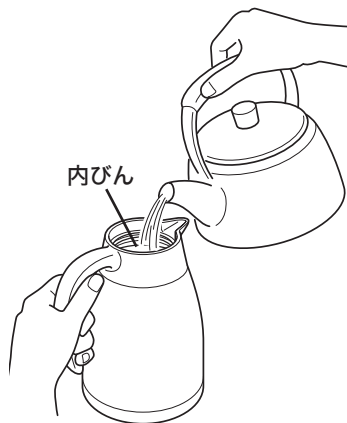
予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

## 3 飲料物を入れる。

●飲料物は、入れすぎないように  
に図の位置までにする。



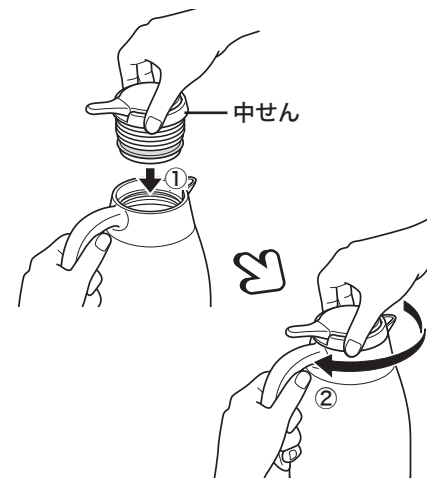
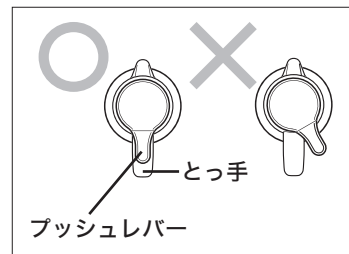
- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。
- 内びんにはお湯を入れ、お茶のときはティーバッグなどをおすすめします。(熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。)



3

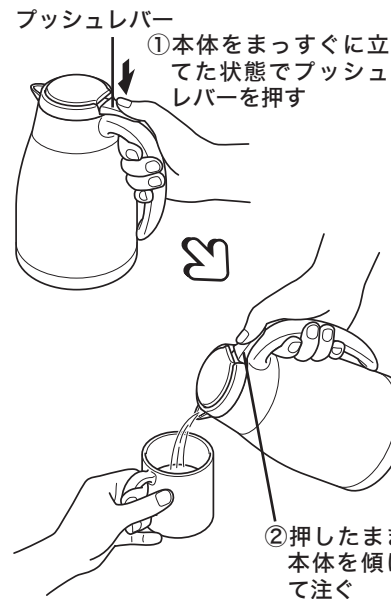
## 4 中せんをしめる。

中せんがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。



## 5 プッシュレバーを押してから本体を傾けて、飲料物を注ぐ。

飲料物がいっぱい入っているときは、少し傾けただけで出るので、カップなどを注ぎ口に近づける。

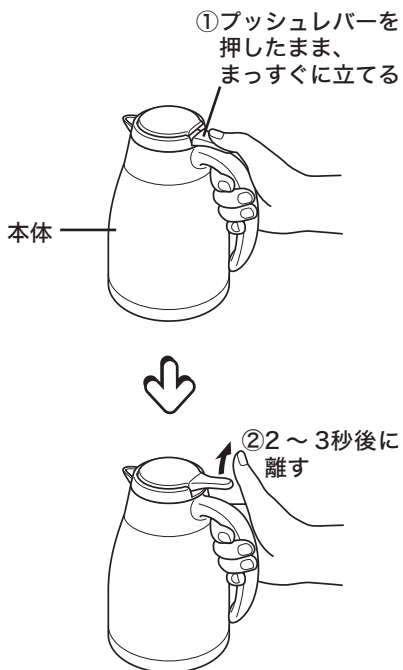
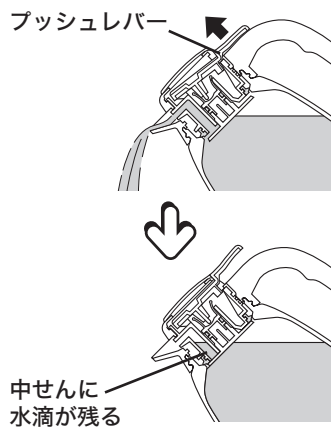
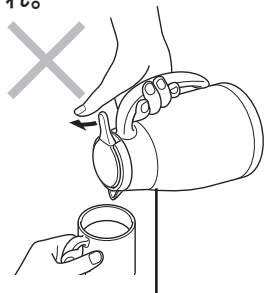


4

## 6 注ぎ終わったら、必ず本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後にプッシュレバーを離す。

### ご注意

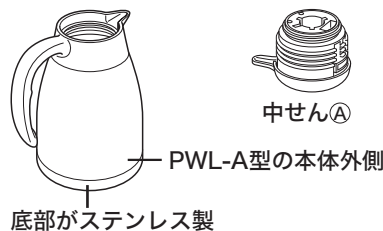
本体を傾けた状態でプッシュレバーを離さない。中せんの内部に少量の「水滴」が残り、持ち運ぶときなどに水滴がもれるおそれ。



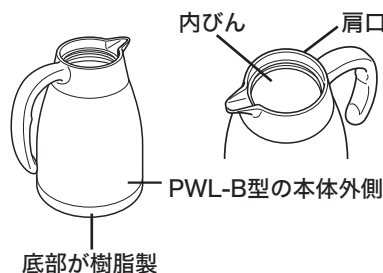
## お手入れのしかた

PWL-A型とPWL-B型で、本体外側のお手入れのしかたが異なります。その他の部分は、同じお手入れのしかたです。

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・布はやわらかいものを使う。

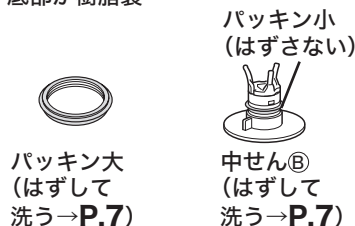


- ①洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。(丸洗いはしない。)
- ②乾いた布で洗剤分をふき取り、乾燥させる。



- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で充分にすすぐ。
- ②本体外側は、すぐに乾いた布で水分をふき取る。(すぐにふかないと、シミや跡がついたり、サビの原因。)
- ③水分を充分に振り切り、乾燥させる。

### ■ ■ ■ においを防ぐために

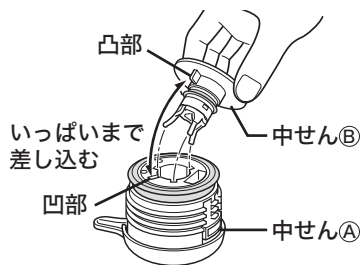


ご使用前や、お湯以外のもの(お茶や糖分を含んだものなど)を入れた後は、熱湯を入れて注湯をくり返し、充分にお手入れすると、においを防ぎ、清潔にご使用いただけます。

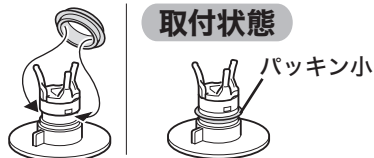
### ご注意

- 本体のつけおき洗いをしない。(PWL-A型は丸洗いもしない。)
- 中せんAの丸洗いをしない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- 中せんのパッキンは必ず取りつける。→P.7
- 長期間使わないときは、充分に汚れを落とし、乾燥させる。

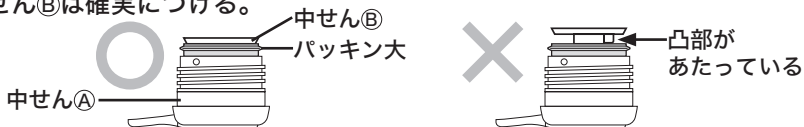
## 中せんのはずしかた・つけかた



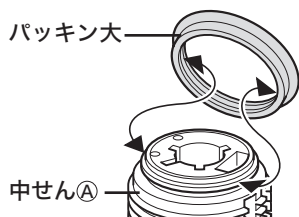
パッキン小がはずれたときは、  
確実につける。



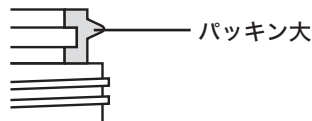
中せんBは確実につける。



## パッキン大のはずしかた・つけかた



つけるときは、奥まできっちり  
はめ込む



### 「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が 内びんに付着したときのお手入れ

- ①クエン酸をぬるま湯でうすめて内びんに入れる。
- ②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

## 不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
飲料物が出ない、 出にくい。	▶ 中せん・パッキンが確実にセ ットされていますか。	▶ 確実にセットする。→P.7
飲料物がもれる。	▶ 中せん・パッキンが確実にセ ットされていますか。	▶ 確実にセットする。→P.4・7
	▶ 中せん・パッキンが損傷して いませんか。	▶ 損傷しているときは、お買い求 めの上、交換してください。 →裏表紙
	▶ 飲料物を入れすぎていませんか。	▶ 入れすぎないようにする。→P.1・3
	▶ 中せんの内部に飲料物が残って いませんか。本体を傾けた状態で注ぐ と、中せんの内部に少量の「水滴」が 残ることがあります。	▶ 注いだ後は、本体をまっすぐに 立ててから、2～3秒後にプッ シュレバーを離す。→P.5
	▶ ポットの性能を保つため、中せんに空気抜きを開けています。プッシュレバーを押 さずに傾けても、注ぎ口から飲み物がもれることがありますのでご注意ください。	
	▶ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。→P.6	
	▶ 落としたり、はげしい振動を加えていませんか。→P.1	
保温（保冷）が効 いていない。	▶ 中せん・パッキンが確実にセ ットされていますか。	▶ 確実にセットする。→P.4・7
	▶ 熱い(冷たい)飲料物を入れていますか。	▶ 熱い(冷たい)飲料物を入れる。
	▶ 内容物の量が少なくありませんか。内容物の量が少ないと、十分な保 温(保冷)効果が得られない場合があります。	
	▶ 本体を丸洗いしていませんか。→P.6	
	▶ 本体がへこんでいませんか。	▶ お買い上げの販売店にご相談ください。
	▶ 寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、充 分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。	
内びんや中せんか ら異臭がする。	▶ 汚れが付着していたり、飲料物を長 時間入れたままにいませんか。	▶ お手入れする。→P.6・7
	▶ プラスチック部分に 線状や波状のように 見える箇所がある。	▶ 樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。